

目標達成計画

作成日: 平成 24年 3月 16日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		地域の子供達と交流を密に持つ必要あり、感謝の気持ちをもっと伝える	幼稚園児が卒園するまでにお礼をする	何のお礼が出来るかを考える。壁飾り(折り鶴)やお礼の手紙を書く。カップケーキを入居者様と一緒に作る。施設へ招待し、交流させてもらう。	1ヶ月
2		スタッフ紹介・・・現在あるのでは、写真が小さく目立たない。顔と名前が分からない。	スタッフの名前と顔を覚えていただく事で、入居者様・ご家族様・スタッフの三角関係がより深まる事を目指す。	スタッフ一人ずつの写真を撮り、名前と写真を玄関の目立つ場所に設置する。	3ヶ月
3	24	人生歴シートが見にくい、又有効な活用が出来ていない。	情報の補充が直ぐに出来るように工夫し、有効な活用が出来るように情報の共用に努める。	人生歴ファイルをすぐ出し、すぐ記入出来るようなファイル作りをする。いつでも誰でも見やすい場所に置いておく。本人・家族の片の会話の中から情報をどんどん記入していく。	12ヶ月
4	16	ご家族や地域の方々からお声が掛かるようになったにも関わらず、今一つ発信・伝達・勧誘が消極的である。	ご家族参加型の施設作りを目指し、1年間進めてきたがまだまだ消極的。機会がある毎にご家族に参加して頂き、絆を深めていく。	ご家族にダメもとでどんどん話しかけ発信する。行事(例えば餅つき等)ご家族主体にやっていただく。2ヶ月に1回は担当者よりご家族にお便りを届ける(近況報告や担当者の事をもっと知っていただくために)	12ヶ月
5	35	災害対策として、地震・高潮時の避難場所が確認できていない。	いつ起きるか分からない災害に対し、早目に確認が必要である。	運営推進委員会議内にて、地域の会長様や消防署より再確認する。又、早急に災害時への準備をしておく。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。